

平成 26 年度第 1 回

東御市地球温暖化対策地域推進協議会議事要旨

H26.8.29(金)13:30～16:00

勤労者会館 2階大会議室

【出席者】

(委員：敬称略)

高橋 大輔、宮原 則子、郷原 辰実、笹平 英俊、梅垣 敦、白鳥 範男、高藤 圭一

(小野 賢一)、佐藤 千枝、新田 詔三、中澤 亥三、荻原 猛、工藤 浩平

[欠席：川口 隆也、関 正喜、森 まり子]

(事務局)

山口市民生活部長、塚田市民課長、勝山課長補佐兼生活環境係長、赤川生活環境係主任

【配布資料】

- ・東御市地球温暖化対策地域推進協議会会議次第
- ・東御市地球温暖化対策地域推進協議会委員名簿
- ・東御市地球温暖化対策地域推進協議会設置要綱
- ・資料（A3カラー）

東御市地球温暖化対策地域推進計画 課別推進施策総括表（中期実行計画）

【議 事】

1. 開 会

2. 部長あいさつ

3. 自己紹介

4. 会議事項

- (1) 東御市地球温暖化対策地域推進計画（中期）H25 年度実績について
承認

- (2) 意見交換

5. その他

6. 閉 会

【審議内容】

6. 会議事項

(1) 東御市地球温暖化対策地域推進計画（中期）H25 年度実績について

【今後見込みのある施策について】

中澤委員

二酸化炭素の削減量が 10,000 トン越えて良かったです。ただ、今ある施策の中でも頭打ちになるものもあるかと思いますので、代替案を考えたほうがいいと思います。

事務局

確かに、たとえば 6 番の「保育園屋根への太陽光パネルの設置」などは、保育園すべてにパネルがのれば、その施策は完了です。代替案としては、この先さらに伸びる見込みがある施策としてはやはり、EV や水素自動車であろうかと思います。

新田委員

代替案としては、24 番の省エネ住宅の推進が大切ではないか。日本は家の断熱が悪い。住宅改修減税はありがたいが、期間限定でなく続くと良い。

【間伐について】

工藤委員

52 番の間伐だが、植林もセットで考えなくていいのか。木を切るだけでは森が減ってしまうのでは。また、松くい被害問題も深刻だが、アカマツ以外に植え替えればいいのか。

郷原委員

間伐をするのは、若い木の方がたくさん二酸化炭素を吸うため。老いた木は切ったほうがよい。また、東信の 50% はカラマツであり、松くいの被害を受けるアカマツは割合でいえば少ない。また、カラマツは東信地域の気候にも合っている。カラマツは初期成長が早く、戦後の植林で多く植えられ、その多くが現在、伐採時期を迎えている。

中澤委員

カラマツは根が浅く防災の観点からは適さないのでは。また、儲からないイメージがある。

郷原委員

建築用材としては曲がりやヤニがあるが、土木用材としては良く、県内からも東北の被災地へ多く出荷されている。防災の観点からであれば、カラマツより広葉樹の方が保水力

は良い。

(2) 意見交換

新田委員

最近、エコドライブ講習の講師をした。上田市はそういった講習はしていないが東御市では行っている。そういったイベントの地域連携もできたらと思う。

白鳥委員

農協でも自動車販売やガソリンスタンド事業をおこなっているが、全国的にも減車、ガソリン販売量減の傾向があると思われる。二酸化炭素排出量削減の間接的参考資料として、そういったものがあれば良い。

宮原副会長

電気の排出計数は計画策定当初より増えているが、計画に反映させる必要があるのでは。

中澤委員

環境省で募集中の「ECO-Crip 事業（エコアクション 21 CO₂削減プログラム）」を市でも広報していただけるとありがたい。私はエコアクション 21 審査人としてこの事業を進めているが、なかなか市内では応募がない。対象は、ISO14001 やエコアクション 21 を導入していない中小企業。

宮原副会長

長野県でも「省エネパトロール隊」という企業を対象とした事業をしているので、エコクリップ事業とセットで市報等に掲載してはいかがでしょうか。